

平成 27 年度事業報告書

一般財団法人 農村開発企画委員会

農山漁村の活性化に関する調査研究、計画策定及び農山漁村集落の活動支援等を実施し、都市と農村の交流を通じた集落コミュニティの再生・維持に取り組んだ。

I. 調査研究事業

1. 国内の農山漁村の活性化に関する調査・研究

(1) 都市農村共生・対流総合対策交付金（広域ネットワーク推進対策〔うち集落課題の情報受発信〕）（農林水産省）

山村振興法（昭和 40 年法律第 64 号）に基づく振興山村をはじめとした中山間集落等がインターネットを活用して、地域課題の発信や多様な主体からの有効な助言や情報の収集ができる仕組み（集落情報サイト）の定着を図るため、研修会や勉強会等の取り組みを実施した。

(2) 地域資源の維持・管理の在り方に関する検討調査業務（農林水産省）

人口減少社会における地域資源の維持・管理の在り方に関する施策の検討を行うため、農地や農業用施設の維持や管理等における、多様な関係者による役割分担等の在り方について分析・整理を行った。

(3) 都市農業・農地が有する多面的機能の経済的評価に関する調査（株式会社ポリテック・エイディディ）

都市農業基本法の制定を受け、東京都における市街化区域内の農地が持つ多面的機能について、概観・特徴を分析するとともに、経済的・定量的なアプローチを用いてその評価額の試算を行った。

(4) J A による農業経営の設立動向にかかるアンケート集計分析業務（全国農業協同組合中央会）

J A による農業経営の現在数の把握を通して、J A の営農経済事業の到達点を明らかにするため、アンケート調査及び集計分析を行った。

Ⅱ. 計画策定支援事業

1. 土地利用形成に関する計画策定の支援

- (1) 金原地区まちづくり基本計画策定検討業務（神奈川県相模原市）
平成23年度に策定した「相模原インターチェンジ周辺新拠点まちづくり基本構想（金原・串川地区）の実現化を目指し、事業区域の設定、農業的手法の検討、金原地区まちづくり基本計画策定の検討、検討会議等の運営支援等を実施した。

2. 農山漁村の活性化に関する計画策定の支援

- (1) 大台町総合戦略策定支援業務（三重県大台町）
人口ビジョンで示す将来の方向性を具現化していくために、大台町総合戦略の策定及び運用方法の策定支援を実施した。
- (2) 生坂村人口ビジョン及び地方版総合戦略検討に係る調査等支援業務（長野県生坂村）
「まち・ひと・しごと創生法」の趣旨に基づき、生坂村版「人口ビジョン」および「総合戦略」の検討に向けた基礎調査を実施した。
- (3) 瑞穂町農業振興基本計画に伴うワークショップ業務委託（東京都土地改良事業団体連合会）
農業振興地域の基盤整備に向けて、効果的な「農業振興基本計画」の作成をおこなうため、地域特性を活かすための豊かな発想と発案を引き出す住民参加手法（ワークショップ）を実施した。

Ⅲ. 活動支援事業

1. 農山漁村集落の活動支援

- (1) 都市農村共生・対流総合対策交付金採択地区の支援
農山漁村の持つ豊かな自然や「食」を観光、教育、健康等に活用しながら、都市と農山漁村における所得や雇用の増大により地域活性化と地域コミュニティの再生を図るために地域の手づくり活動に取り組んでいる全国の15地域協議会*1の活動を支援した。

*1：15地域協議会のリスト

○標津町地域協議会	(北海道標津町)
在来津軽清水森ナンバブランド確立研究会	(青森県弘前市)
○本宮市農村集落活性化協議会	(福島県本宮市)
○白沢農福連携協議会	(福島県本宮市)
○利根町地域活性化協議会	(群馬県沼田市)
○多那地域活性化協議会	(群馬県沼田市)
○NPO法人ふれあいパーク岡成	(群馬県富岡市)
○ひのはら都市農村交流研究会	(東京都檜原村)
相模原さとやま体験協議会	(神奈川県相模原市)
○絹と藍に育まれた国際むらづくり協議会	(神奈川県相模原市)
○御所見活性化推進協議会	(神奈川県藤沢市)
○NPO法人南アルプス山麓いやしの里づくりの会	(山梨県南アルプス市)
○生坂農業未来創りプロジェクト会議	(長野県生坂村)
○けいほく地域協議会	(京都府京都市)
○和東未来づくり工房	(京都府和東町)

IV. 普及推進事業

1. 優良事例の普及推進

(1)食アメニティコンテスト

自主的努力により地域の食文化の保存・開発とその普及に努め、そのことが都市と農山漁村との交流を促進させるなど地域の活力の増進に寄与しているものとして、都道府県等の推薦を受けた女性グループ又は個人を、農林水産大臣賞（3件）等として表彰するとともに、優良事例としてその普及に努めた。

平成27年度は、マルヤマ山根商店（岩手県宮古市）、萱場市子（宮城県仙台市）、とっとまむ&とじま亭（愛媛県宇和島市）が農林水産大臣賞を受賞した。

(2)美の里づくりコンクール

国民共通の財産である良好な農村景観を形成するため、持続的な農業生産活動はもとより、地域の自主的努力により農山漁村の美しい景観を保全・形成している優れた活動を、農林水産大臣賞（1件）等として表彰するとともに、優良事例としてその普及に努めた。

平成27年度は、竹原農地・水・環境保全会（岐阜県下呂市）が農林水産大臣賞を受賞した。

2. 郷土料理・食文化の普及推進

(1) 郷土料理・食文化の普及推進

郷土料理を通じた農村振興の一助として、財団ウェブサイトにおける郷土料理に関する各種情報の発信、関連する事業を行う者への写真やテキストの提供、一般へのパンフレット・レシピ集の配布などを行った。

3. その他普及推進の実施

(1) 農林水産祭への出展

農林水産省及び公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により平成 27 年 11 月 13 日（金）、14 日（土）にサンシャインシティワールドインポートマートビルで開催された平成 27 年度（第 54 回）農林水産祭「実りのフェスティバル」において、本宮市農村集落活性協議会、利根町地域活性化協議会、多那地域活性化協議会から、農業農村の優れた農産物や地域特産加工品等の地域食材を出展するとともに、郷土料理等地域の食文化の紹介を行った。

(2) 刊行物の販売

郷土料理のレシピ集「家庭で味わう郷土料理百選—こだわりの 48 店が創る故郷の味」、農村整備用語辞典や農村工学研究等の販売を行った。

(3) 農村計画学会の事務局業務の実施

農村計画学会より事務を受託し、会員管理、学会誌の編集・発行等を実施した。

(4) ホームページの活用

本財団のホームページの内容充実及び適切な管理運用を図ることを通じて、農山漁村の活性化に関する情報の提供・収集に努めた。